

# チーム えがお

《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』  
☆「かしく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

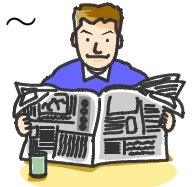


発行者:校長 岡田 達也



えがお かがやき かんばる 学校 困うえんだん 「チーム北川」～

## 「百聞は一見にしかず！」の巻



### 「行って見て、話を聞いて、初めて実感！」



22日(水)に、4年生は社会科『住みよいくらしをつくる』の学習「ごみのしまつと活用」の一環として、里庄清掃工場(岡山県西部環境整備施設組合:笠岡市・浅口市・里庄町)とリサイクルプラザ(岡山県西部衛生施設組合)の見学に出かけました。教室での教科書や資料集を活用した授業だけでなく、実際の施設

を見学し、そこで働く方から直接お話を聞くことで、学習がより豊かになります。例えば、

- ア) 子どもが教室を出て現地に行き、生きた社会生活の実際に触れることで、五感を活用した「学び」が実現できる。
- イ) 子どもの生活経験や視野を広め、主観的、一面的な社会的事象の捉え方を客観的なものへと高めることができる。
- ウ) 子どもの自主的な学習を喚起することができ、「調べ学習」への興味・関心を高めることができる。
- エ) 集団で行動することで、あいさつや礼儀等を含めた「見学の態度」を育成することができる。



といったことです。しかも、こうした社会科見学の効果をより一層高めるには、事前・事後の指導や学習が大切になります。当然、4年生の子どもたちは、見学前に自分たちで調べ、何を見るか、何を質問するかなどをきちんと準備して見学に向かいました。その成果は、社会科見学新聞に活かされると思います。

\* \* \* \* \*



## 「さん太が北川にやってきました！」

4年生の国語科の単元に新聞を扱った教材があります。そこで、23日(木)の3校時に山陽新聞社の記者の方を講師としてお招きし、出前授業をしていただきました。当日は、記者の方だけでなく、多目的活動車「さん太」号も来校し、その中で印刷した授業の「号外」も配られました。



出前授業では、記者の方から新聞の基本的な読み方や記事の書き方、「桃太郎」を題材にした見出しの付け方などを分かりやすく教えていただきました。プロから教わるため、子どもたちも真剣に聞き入り、どうしたらよく内容が伝わるかを考えていました。



子どもたちは、事実が同じでも伝え方にちがいがあることや、自分なりに考えることが大切なことなど、多くのことを学んでいました。大変有意義な時間となりました。